

2022（令和4）年度第1回組織等検討委員会 議事録

開催日時：令和4年6月5日（日） 14:00～15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：宮崎委員長、金田、國本、佐藤、佐佐木、足立原（以上委員）、
江口（会長）、引地（副会長）、藤原（会計）、冨塚（庶務）、
松永上中村自治会長 長尾中中村自治会長 森田下中村自治会長

敬称略

司会：宮崎委員長

記録：國本

議事

1、町内会長、委員長挨拶

2、内容

（1）委員紹介：委員および五役の自己紹介。

（2）今年度の取り組みについて

検討課題

- ① 町内会加入促進の取り組み
- ② 町内会賑わいプロジェクトの創出

上記の他、新たに検討すべき課題があれば提案してください。

- ① 町内会加入促進の取り組み

全体の現状：

会員の減少（昨年度41世帯の減少があった）

理由として、町内会加入のメリットが感じられない。役員（班長）をやりたくない。等
昨年度、町内会全体および各自治会個々の加入パンフレットを作成し加入促進を進めたが、
コロナ禍でなかなか行動できなかった。今年度も会員拡大が課題となる。

・各自治会での状況：

上中村：

前年度 新らしい住宅群へ加入パンフレットの配布を行った。

今年度 ・少しずつ勧誘活動を継続する。新しい住宅群は36軒ありそのうち34軒に入居者あり。前年度から勧誘を行い、現時点で11軒の加入があった。

中中村：

前年度 新たに来られた方への案内の配布と高齢者の見守り隊活動を行った。

今年度 ・新しく来られた方への勧誘活動を継続して行っている。

・防災倉庫用の分配金で防災資材を購入し、自治会のメリットとして災害対策を取っていることを具体的な説明を行い勧誘している。

・班長が回ってくることが入会のネックとなる事への対策として、班長活動の煩雑さを軽減し負担を少なくする努力をしている。

○連絡の手間をインターネットの利用により省力化と効率化を図っている。

○班の情報の蓄積を紙ベースから電子化に変更する。 等

下中村：

前年度 新規住宅への加入プロジェクトを推進。7軒件加入し新しい班を作った。

- 今年度
- ・入会勧誘に当たり、メリットとデメリットを明確に説明している。
 - ・地域活動の楽しさや学ぶこともあること、近隣と顔見知りになることの重要性を伝える努力をしている。
 - ・退会の要因を調べてみると、「自治会加入のメリットが感じられない。回覧の必要性が感じられていない。」などが挙げられている。

町田市全体でも減少傾向。

内容は模索中だが、会員に対する新たな切り口からのアプローチが必要だと思う。規約や会費のことも見直しが必要ではないだろうか。

住民にとって住みやすい街とするための意見も集めてゆきたい。

その他意見

- ・新しい住宅群は年齢層がそろっている場合が多く、子育ての状況も似ている。そろって加入しても、子供から手が離れた後、誰かが退会すると、芋づる式に退会する傾向がみられる。入会後のフォローが重要だと思う。
 - 退会者の原因解消のため見える形でのメリットの紹介が必要。
- ・災害対応に関する会員の優位性も伝えていく必要がある。
- ・危機感の欠如が地域意識の薄さにつながっていると思う。
 - 境川の洪水があるエリアでは近隣の結びつきが強い。
 - 自治会単位の括りから発展し、中村として、例えば共通の課題を抱える、境川沿い住民の連合などの発想も必要ではないだろうか。
 - 対策の一つとして、車両水没回避への町内会としての避難場所の斡旋等。
- ・会員への還元を考えていく必要がある。町内会の見える化も一つの方法。
 - 助け合える環境造りが大事だと思う。

○今後も各自自治会で様々な加入促進活動を進めることが重要だと思います。

② 町内会賑わいプロジェクトの創出

魅力のある町内会作りとして、今後、若者や子供たちの意見を加味した新たなプロジェクトが作れないか。

- 新しい事業の立ち上げは多大なエネルギーが必要。いきなり大きな取り組みとする前に、関係者の負担の少ないことから手を付けたらどうか。

○プロジェクトの実現に向けての活動・行動

なにかの新しいイベントでなくても、お祭りの企画に反映できればいい。

その為にも子供たちの声を聴きたいと思う。

- 盆踊りも既存の曲のみならず子供たちが活動できる要素を組み込む。
 - ダンスなども組み込む。

- ← 新しい視点を得るためにも子供たちの生の声を聴きたい。
- 例え小規模だろうが、何かやってみることが重要。うまくいかなければやめればいいし、違う事をすればいい。運営も町内会班長ベースから離れた有志の組織化も必要。
- 参加について、町内会員かそれ以外かの差別化への考慮も必要。
- 実施部隊として、班長に頼らず運営ボランティアの組織化も必要ではないか。班長の役割をルーチンワークに絞りイベント系のボランティアは別の形を考えることも必要。 ← 組織検討委員会の検討課題。

今後、若者・子ども達にプロジェクト参加の呼びかけをし、声を聴く機会を持ちたいと思う。
引き続き検討を続けたい。

(3) その他

- ・次回予定

日程：9月11日（日）14：00～

議題：各自治会の加入促進状況

賑わいプロジェクトの開催について 等

以 上